

# 開封しました ほほえみポスト

2019年4月～6月 小豆沢病院利用委員会



2019年4月から6月までの3ヶ月間で、24通のご投書をいただきました。ありがとうございました(同じ趣旨のものはまとめさせていただいています)。

この内容は外来のディスプレイで放映しているほか小豆沢病院のホームページにも掲載しています。

ホームページでは過去約1年分をご覧いただくことができます。[www.kenbun.or.jp](http://www.kenbun.or.jp)

## 改善に関わる投書

### ●外来に受診をされた患者様から

糖尿病外来で、私より後から来た人を先に診察するのはやめてください。私が診察前の検査を終えた後、後から来た人たちを先に診察し、5～6人とばされることもあります。2時間以上待たされたこともあります。

(回答)

2時間以上もお待たせすることになり、申し訳ございませんでした。糖尿病外来では、検査をおこなった後、その結果を受けて診察をおこなうため、結果が出るまでの時間お待たせすることになっていました。

改善策として、診察時間よりも1時間ほど早く検査に来ていただき、予約をしている診察時間にお待たせすることがない流れに変更しています。なお、午後の受付開始は13:00からとなっておりますが、「糖尿病外来」の受診であることを受付窓口の職員に申し出ていただければ、受付開始時間より前であっても受付をおこない、対応させていただきます。

また、10月には血液検査の装置が新しくなり、これまでよりも結果が早く出せるようになることで改善をはかります。

装置の購入や設備を充実させるために、病院を利用されるみなさまに協力債(有利息)のご協力をお願いしています。

## ご評価をいただいた投書

### ●入院をされた患者様から

病院の転院は私にとって初めての経験でした。娘の知り合いが小豆沢病院にお世話になり良くなったと聞き、期待とともに向かい、笑顔の師長、看護師さんに迎えられました。

10日が過ぎ、病院のみな様の献身的な支えで日々過ごしています。夜中にナースコールを押してもすぐ駆けつけて下さり感謝しています。

私の誕生日には歌を歌ってくださり、美味しい食事をいただきながら、号泣してしまいました。それを見た看護師さんも一緒に泣いてくださりました。心に残る入院生活になると思います。感謝とありがとうがっぱいの私です。

### ●入院をされた患者様から

入院中はあたたかい対応をしていただきありがとうございました。一時はどうなることかと思った時もありましたが、無事に過ごすことができ今回退院になりました。

みなさんも元気で過ごせるようがんばってください。

### ●入院をされた患者様のご家族から

肺炎、嚥下障害で入院しました。佐川先生にやさしく診ていただき、熱も下がり、今は退院の日になりました。

自宅での療養にむけて流動食を食品会社に申し込みました。これから先、主人の介護をがんばるつもりです。

### ●入院をされた患者様から

3ヶ月間、十分な介護をしていただきありがとうございました。先生をはじめ、職員みなさんに親切にいただきました。感謝しております。

リハビリの上野さん、木幡さんには良くリハビリをしていただきました。3ヶ月間ありがとうございました。

武田さんにもいろいろとアドバイスをいただきました。ありがとうございました。ますますの発展をお祈りいたします。

### ●入院をされた患者様から

長い間の闘病生活でしたが、リハビリの先生に鍛えられ、支えられ、優しい手のぬくもりに日々回復していくありがたさを感じました。ナースのみな様に心のケアをしていただき、励ましていただき、みな様への感謝の気持ち、一生忘れません。ありがとうございました。

私の人生を歌にして詠んでみました「幸せを/乗せて走るや/国鉄の/ダイヤ乱れず/永久(とわ)の人生」。

あと10年、私の人生が最高に幸せでしたと思えますよう、体に気をつけて2人で歩んで生きたい。あたたかい小豆沢病院、最高です。

### ●入院をされた患者様から

こちらには4ヶ月ほどお世話になりました。腰痛で受入れ先がない中、みな様には感謝の言葉しかありません。

林先生をはじめ山路さん、看護師さん、介護士さんのチームワークは、他の病院では見られない連携であったと思います。

### ●入院をされた患者様から

入院して2ヶ月が過ぎました。食事、トイレ、お風呂他、みな様とても良く働かれています。

特に濱田さん、いつも目配り、気配り、思いやりを忘れず、笑顔を絶やさないおおらかな人柄です。

七夕やいろいろな物を手作りし、みんなが楽しんでいました。みな様いい人ばかり、ありがとう。私もがんばります。

### ●外来通院中の患者様から

小生、妻を亡くしてから1人暮らしをしています。

救いと楽しみは毎月1回小豆沢病院に来て、先生やスタッフと遠慮なく言葉を交わすことです。命ある限りこれを続けたく、よろしく願い申し上げます。

先生、スタッフのみな様にご多幸あることをお祈りします。